

おかげさまで増刷! 4月6日出来

20代で隠居

週休5日の快適生活

著者：大原扁理 おおはら へんり
愛知県生まれ。東京都在住。高校卒業後、3年間ひきこもり、海外一人旅を経て、現在隠居5年目。
ISBN978-4-902800-28-9 C0095
本体1,300円+税 四六判 208ページ
※返品フリー入帳

賛否両論まっぴたつ。あなたはどっち?

【アマゾン高評価レビューから抜粋】

「新しい生き方を提案してくれる人の存在は若い世代にとって励みになります」

「今の日本に必要な視点なんじゃないかな?と思いました」

「これまでの価値観が粉々に粉碎されました」

「東京で、月7万円で、こんなに楽しく暮らせる、
という彼のメッセージはどれだけ多くの人を救うだろう」

「就活したけど決まらない、って人ー読んでみては」

VS

【アマゾン低評価レビューから抜粋】

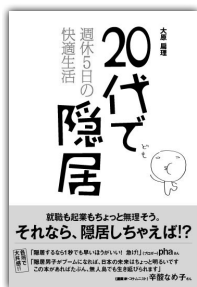
「勝手にとっとと人生を終了してもらいたい」「ホームレスの人の方がまともです」

「ただのケチ生活だと思います」「やる気のない底辺の人間という感じ」

アマゾンレビューでは多くの方に高評価をいただきながらも、同時に多くの低評価を下されています。発売以来各メディアで取り沙汰され多くの読者に手に取っていただいている一方でたくさんの反発があるのは、現代社会に潜む対立に、この本が強く触れているということではないでしょうか。

就職や進学にともなう環境の変化で将来に悩む人が多くなるこの時期、補充・展開をぜひご検討ください。

著者2作目『年収90万円で東京ハッピーライフ』(太田出版刊)もともに好評発売中です。



～目次～

隠居って、こんな感じ●一日のようす／隠居って何?／1ヶ月の生活費は7万円台／自分を使えば、お金は使わなくてOK
／隠居流趣味の見つけ方／気楽なお付き合い～ファッション編／気楽なお付き合い～人間関係編／前世はお坊さん?
隠居食のごと●忙しいとないがしろになるもの／ヒマになると、食に興味がわく／粗食は意外にラクだった／粗食のいいところ
／健康が一番の節約／おいしい野草生活／ある週の献立
隠居に至るまで●3年間ひきこもって感じたこと／口が退化しはじめる／ハタチ過ぎたら人生引き算／旅とひきこもりの共通点とは
／とくに目的もなく上京／隠居への手探り／隠居を決意させたもの／晴れて20代で隠居になりました
隠居あれこれ●何でお金がないと生きていけないの?／ホームレスに会いに行ってみた／生活レベルをぐんぐん落とす
／週2日だけ働けば、生活には困らない／隠居とフリーターは何が違うのか／虎の子貯金は必要です／隠居はタカらない
／次世代型の隠居／隠居のひとりごと

ご注文はFAX:03(3294)2772まで

取引取次:日販、トーハン、大阪屋栗田、中央社

貴店名

20代で隠居

週休5日の快適生活

冊 定価:1,300円(税別) ISBN978-4-902800-28-9 C0095